



# 梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和7年7月18日

## 夏休み号

NO. 629

校長 大久保仁晶



## 夢中になる夏休みを

3年生の育てていた蚕はまゆになりました。また、アゲハ蝶の幼虫もいくつか羽化しました。さらに、6年生がプール清掃で見つけたヤゴもトンボになりました。虫かごに生き物を飼っている姿や、昆虫網をもって、虫を追いかける姿も見られます。

夏休みを迎える前のこの期間に、個人面談を実施しました。お忙しい中、ありがとうございました。学校での様子、家庭での様子と、「あー、家と同じだ」とうなづくところもあれば、「家と全然違う」と意外性を感じたところもあったと思います。大切なことは、今回の面談で共有した内容を、子どもにどう還元してのかということだと思います。よい面を伸ばしつつ、課題についても少しずつ取り組んでいければ、と考えています。どうぞよろしくお願いします。

いよいよ夏休みです。今年も土日のめぐりあわせで44日となります。いつもより少し得をした感じがするかもしれません。楽しみに思っている人が多いと思います。何をして過ごすか計画はもう立てていますか？何と言っても、夏休みも「早寝早起き朝ごはん」を心掛けてほしいと願います。今年の夏も暑くなりそうです。生活リズムが崩れると、この暑さに負けてしまうかもしれません。熱中症や水の事故には気をつけて健康・安全に過ごしてください。

また、学校での生活がない分、家にいる時間が多くなると思います。ぜひ、コミュニケーションも多くとってください。梅田小の校内研究にいられている三田大樹先生が「なぜ？どうして？身近な子ども6年生」の本の中で、

子どもに必要なのは、自分の考えや思いをアウトプットできる相手の存在です。  
そして、最高の話し相手は、やはり親なのだと思います。

と述べています。お家の人は夏休みではないかもしれませんが、お時間をとっていただけると幸いです。子どもとの会話の中で、新たな発見があるかもしれません。同時に、おうちでのお手伝いを継続的に行わせてください。いつも以上に取り組んで、お家の人に褒められたり、感謝されたりするくらい頑張ってもらいたいと思います。

そして、お盆など夏休みならではの体験も多くしてほしいと思います。夏祭りがあったり、平和について考えたり。昔の日本で何があったのか、夏休みにいろいろわかることがあると思います。

夏休みは子どもたちが一回り大きくなる機会です。梅田小学校の校内研究のテーマは「夢中に学ぶ子を目指して」です。この夏休みも、何かに夢中になる姿が見られることを願っています。夢中に遊ぶことも、時には大切なのかもしれません。もちろん、夏休みの宿題も忘れずに。それでは、9月1日に元気にお会いしましょう。



暑さ対策で、中央昇降口に「ミスト」がつけました。